

目次

| | | |
|-----------------------------|--------------|---------------------------|
| 国文学研究と図書館 | 原田 敦史…………… 1 | 2013年新規雑誌購入リスト…………… 8 |
| グループで使える部屋を紹介します…………… 4 | | 資料のリクエストを募集しています…………… 9 |
| 情報の探し方(5)…………… 6 | | 出張報告「ラーニング・コモンズ再考」…………… 9 |
| 日本語の文献を探するとき Cinii Articles | | 図書館からのお知らせ…………… 10 |
| 寄贈図書一覧(平成24年)…………… 8 | | |

国文学研究と図書館



原田 敦史

大学で国文学専攻に進み、使い方を覚えた書物の中には、その規模の大きさと便利さに驚いたものもいくつもあった。今それらのなかで、歴史学や漢文学のほうに関わりの深いものを除き、岐阜大学で利用できる基本的なものに限って挙げるとすれば、『日本国語大辞典』『新編国歌大観』『古事類苑』の三書となるだろうか。

『日本国語大辞典』*1は、1972年から1976年にかけて小学館から刊行された、全20巻の、文字通りの大辞典である。2000年から2002年には、大幅に改良をほどこされた第二版が発売され、私が多く利用したのもこの第二版だったが、項目数50万にも及ぶこの辞典の最大の特徴は、何といてもその用例初出主義にある。最古の用例をまず掲出するという方針が貫かれているのである。これは、古典文学を研究する者にとって大変に有用である。例えば、『伴大納言絵詞』という、平安末期成立とされる国宝の絵巻物がある。伴善男が平安京の応天門に放火した事件、有名な応天門の変の顛末を描いた作品で、詞書の部分とほぼ同文の説話は、『宇治拾遺物語』にも収載されている。その末尾は「いかにくやしかりけむ」という一言で結ばれているのだが、この「くやし」を現代語と同じように「悔しい」と訳し、放火の罪によって罰せられることになった善男の心情を

「どんなにか悔しかったであろう」と思いやる表現だとする解釈がかつてあり、伴大納言は怨霊になったのだとまで考えられていた。だが、そもそも「くやし」という古語の意味の基本は、「後悔」であるはずなのだ。上のように読むことがはたして可能なのか、この点に注意して『日本国語大辞典』をひいてみると、「後悔」の意味で用いられた初例として『古事記』が引用されているのに対して、「悔しい」という意味で解釈できる用例は、1662年の「評判記・剥野老」という作品が最初とされていることがわかる。『伴大納言絵詞』や『宇治拾遺物語』が作られた時代に、「くやし」が現代語と同じような意味で用いられていたとする解釈は誤りなのではないかという見通しは、容易に得られるのである。

実際に、当時の用例を博搜した論考によって、「くやし」は全て「後悔」の意であって例外はなく、善男は自らの行為を悔いているにすぎないのだということ、従って伴大納言怨霊説は成り立たないことが、すでに明らかにされている。語義の初出をおさえることが古文の解釈に際していかに大切か、この一例によっても明白だろう。そうした研究において『日本国語大辞典』が与えてくれる情報は、極めて有益なのだ。

問題点がないわけではない。調査対象に入らな

かった古典籍が当然あったことにも留意しなければならないが、より大事なものは、上に示したような考察が可能なのは、用例となっている作品の成立年代がはっきりしている場合の話だということである。古典文学の中には、誰もが知っている有名な作品であっても、厳密な成立年代がわかっていないものが少なくないのだ。例えば『平家物語』である。『日本国語大辞典』の「出典一覧」では、13世紀前半の成立とされている。つまり、同辞典は、『平家物語』の用例を13世紀前半のものとして扱うのである。だが、『平家物語』には異本が極めて多く、仮に原本なるものが13世紀前半に成立していたとしても、現在残っている諸本がその当初の姿を留めているという保証はどこにもない。むしろ、幾重にもわたる改作を経た本文しか残されていないと考える方が正しい。そして、『日本国語大辞典』が主として引用する『平家物語』は、応安四(1371)年の奥書を持つ、「覚一本」と呼ばれるテキストなのだ。これを13世紀前半の用例と見るのに危険が伴うことは、容易に想像できるだろう。また、『平家物語』の最も大部な異本に『源平盛衰記』がある。こちらは14世紀前半の作品として用いられているのだが、『源平盛衰記』は14世紀前半の成立ですと言い切られれば、多くの研究者が首をかしげることだろう。その成立年代は現状では不明というしかなく、大まかな見通しでは、どうやらだいたい下った時代になりそうだというのがおおよそその雲行きなのだ。仄聞したところでは、「ぶんまわし(コンパスのこと)」などという特異な語も、『源平盛衰記』初出として掲載されている(二例目以降は江戸時代の作品)とのことだが、14世紀前半にそういうことばがあったのか、慎重な調査と判断が必要だろう。

とはいえ、研究の糸口をつかむ上で重要な情報を与えてくれる辞書として、大いに活用すべきものであることは間違いない。『日本国語大辞典』の紹介が長くなったが、他の二書についても簡単に触れておこう。『新編国歌大観』(角川書店)^{*2}は、明治～大正期に出版された『国歌大観』を継承するもので、和歌集のみならず、歌合・物語・日記などの和歌をも収載した、要は古典和歌の集大成である。全ての歌に番号が付され、句による検索を可能とした索引を備えた、国文学研究の根本資料ともいえる書物である。文学がことばを用いた芸術である以上、とりわけ和歌が伝統を旨とする文芸である以上、同じことばをそれまでの時代の人々がどのように詠んできたか、同時代の歌人たちがどのように詠んでいるかを知ることは、一首を解釈する上で不可欠の作業である。『新編国歌大観』の索引にあたれば、一つのことばが古典和歌の中でどのように詠まれてきたのかを、具体例を通じて目の当たりにすることができ



(写真 『新編国歌大観』)

るのだ。例えば、「春の夜の夢の浮橋とだえして峰にわかるる横雲の空」という、藤原定家の有名な歌がある。難解な歌意はひとまず措いて、「横雲の空」という珍しい語に着目しよう。これを索引でひけば、新古今時代に好まれた表現である一方で、前の時代には全く詠まれていないこと、定家の歌に対する先行例としては、わずかに藤原家隆の「霞たつ末の松山ほのほのとなみにはなるる横雲の空」があるのみであることが知られる。おそらくは、家隆発案の表現を他の歌人たちも詠むようになっていったことだ。定家と家隆がライバル関係にあったことを踏まえ、上の二首については、家隆の試みに触発された定家が、その新しい歌語を自分なりに詠みこなして見せようとしたのではないかという解説があるが、索引によって知られるこの語の使用状況から見ても、説得力のある説明だろう。一例を挙げたにすぎないが、如上の方法で、和歌に用いられたことばについて明らかにすることは、時には歌語をちりばめた散文の研究においてさえ有効であり、そのために『新編国歌大観』が果たす役割は絶大である。

三つ目の『古事類苑』^{*3}は、明治政府によって編纂された、分野別の百科全書のようなものである。現在広く使われている吉川弘文館刊の普及版で、全51巻に及ぶ。30の部から成り、各項目について、解説文ではなく関連する文献の引用がひたすら並んでいる。自分が調べようとすることばが、古典の中で具体的にどのような場面で用いられてきたのか、その例を豊富に得ることができるのである。例えば、「犬」について調べるとしよう。「動物部」に「犬」の項目を見つければ、犬が登場する古典作品の場面が、読み通すのが面倒になるほどたくさん並んでいるのである。全ての古典籍を網羅しているわけではもちろんないし、その豊富な用例から何を見いだすかは利用者次第のことでもあるのだが、古文を注釈的に読もうとする者にとって、これほど便利な書物はない。今でも身近な「犬」などは違って、現代人にとっては残された文献の記述を通して想像するしかない事柄が、古文の中には無数



(写真 『古事類苑』)

に出てくるのだから、その像を少しでも具体的に
するために、多くの用例の存在は、ほとんど唯一の助
けとなるのである。

以上、ジャンルも使い方も異なる書物について述
べてきたが、三書全てに共通することがある。一つ
は上に述べたとおり、いずれの書も、用例を知って
古文の解釈に活かすために有用なものであるという
ことである。もう一つは、やはり三書全てが、近年
になって電子化され、ますます利用しやすくなった
ということである。『新編国歌大観』は、私の学生
時代からもうすでに、紙の本より CD-ROM 版を使
う方が主流となっていた。CD-ROM 版では、句検
索に加えて語彙検索が可能になるという大きな利点
が加わっており、得られる用例数は飛躍的に増して
いる。五七五七七の各句単位ではなく、単語でひけ
るといふこと、「よこぐものそら」でしかひけない
のではなく「よこぐも」「そら」での検索、さら
には他の単語との複合検索まで可能だということ
である。何冊も引っ張り出してきて、いちいちペ
ージをめくる手間もない。その後、バージョン2の
CD-ROM が発売され、現在では「日本文学 Web 図
書館」という有料サイトのコンテンツの一つとなっ
ている。OS の進化に伴って古い CD-ROM が使え
なくなるという状態も解消され、俳諧や平安文学
のライブラリーなども併用できる。今後はこのよ
うなスタイルが中心になっていくのだろう。

その巨大な例として、ジャパナレッジという、
40あまりの辞典や雑誌を収録した有料サイトがあ
り、『日本国語大辞典』の第二版も、そのコン
テンツの一つとして広く利用されている。国文学
研究の範囲に限っても、歴史や地名などの情報
をまとめることができる、夢のようにありがたい
サイトで

ある。『古事類苑』は、以前から無料で使える
サイトがいくつかあったが、その後ジャパナレ
ッジのコンテンツとしても収録されたようである。
加えて言えば、ジャパナレッジには小学館の新
編日本古典文学全集が、やはり検索機能付きで
収録されている。同全集は、ごく一部を除いて
岐阜大学図書館には配架されていないが、上
代から近世まで幅広い作品を集めた、現代に
おける古典全集のスタンダードの一つである。
それらをまとめて検索することが可能である
ということが、ことばに関わる研究において
どれほど有益であるかは、繰り返すまでもな
いだろう。

このような現状に鑑みると、岐阜大学が上
に示したウェブサイトのいずれも導入してい
ないことは、やはり残念でならない。国文学
研究にしか使わないものについてはあまり
わがままも言えないが、ジャパナレッジの
コンテンツは、言語・歴史・科学など、幅
広い分野にわたっているのである。導入機
関一覧を見ても、近隣の大学はほとんど加
入しているようである。昨年12月頃に図
書館で無料トライアルが実施されていた
ようだが、その後どうなったのかを聞
かない。

機械による検索に頼りすぎることの弊
害はもちろんあるだろう。現に、和歌研
究の第一人者である大家は、国歌大観
の CD-ROM など一度も使ったことが
ないとおっしゃっている。楽に調査が
進められるようになったせいで、逆に
研究者の器が小さくなるようではい
けないことは確かだが、より多くの
学生に研究の世界の入り口を覗いて
もらう意味でも、すぐれた機能を持
つツールの存在が広く周知され、皆
が使える状況が整備されることを
庶幾してやまない。(はらだ あつし：教育学部准教授)

- * 1 図書館 3 階 813.1 || NIH
第 2 版 図書館 2 階参考図書 813.1 || Nih
- * 2 図書館 2 階参考図書 911.103 || Sin
図書館 3 階 911.103 || SIN
- * 3 図書館 2 階参考図書 031.2 || Koz ほか



グループで使える部屋を紹介します

図書館にはグループでの学習やプロジェクターを使ったプレゼンテーションに使える空間があります。ここでは討論、話し合い、相談しながらの学習等、通常の閲覧席ではできないスタイルで学習することができます。設備とともに紹介しますので、どんどん活用してください。

ラーニング・commons

本館2階

無線LAN

自主的・主体的な学習のための部屋です。グループでの学習、討論など自由に利用してください。

- ・自由に動かせる机と椅子があります。
- ・無線LANが利用できます。
- ・教育用パソコンがあります。
- ・ホワイトボードが使えます。マーカーはカウンターにあります。



BBC 放送が視聴できます。



今週の新聞はここにあります。

プレゼンルーム

本館2階

無線LAN

プロジェクター

プレゼンルームはプロジェクターを備えており、PCを用意すればプレゼンテーションやその練習ができます。

- ・自由に机、椅子を動かせるので、会議、グループディスカッション、グループ学習にも利用できます。
- ・予約が入っていなければ、申込なしで利用できます。プロジェクターを使用したい時、決まった時間に使用したい時は、カウンターでの申込・予約、あるいはWEBからの予約が必要です。



グループ学習室

本館 1階 (3部屋)
医学図書館 3階 (2部屋)

要申込

グループ学習室は視聴覚機器を備えていますので、グループ学習のほか視聴覚資料の鑑賞にも利用できます。

- ・カウンターでの申込・予約、あるいはWEBからの予約(本館のみ)が必要です。
- ・本館は20人用2部屋、6人用1部屋です。医学図書館は12人用1部屋、6人用1部屋です。
- ・3人以上から利用できます。・利用時間は2時間までです。予約がなければ1時間ずつ延長できます。



本館



医学図書館

WEBからの予約方法

今回紹介した施設は、医学図書館の施設を除いて、すべてWEBから予約できるようになっています。

① 図書館ホームページや AIMS-Gifu から図書館ポータル My Library にログインします。



↑ 図書館ホームページから



↑ AIMS-Gifu から

② 施設予約画面で利用する施設と日付を選び「空室状況確認」アイコンをクリックします。



③ 予約状況の表に予約可能な色が表示されていれば予約できます。(A)

表の下の入力欄に必要事項を入力し、「入力確認」アイコンをクリックします。(B)

④ 入力した内容が表示されるので、確認して「依頼する」アイコンをクリックします。

これで WEB からの予約は完了しました。

当日、利用するみなさんで図書館本館カウンターまでお越しください。

情報の探し方（5）日本語の文献を探るとき

今回は岐阜大学で契約しているデータベースの中から、国立情報学研究所が運営している論文情報提供サービス「CiNii Articles」を紹介します。

CiNii Articlesでは学協会刊行物・大学研究紀要・国立国会図書館の雑誌記事索引データベースなどの学術論文情報を検索することができます。また、全文が公開されている論文も収録されています。

岐阜大学は機関定額制で契約していますので、公開されている論文本文のうち「定額アクセス可能」と表示されている論文本文も自由に利用できます。また、参考文献・被引用文献の機能も利用できます。

CiNii Articles <http://ci.nii.ac.jp/>

（検索画面）



簡易検索



Cinii Articles に登録されている論文の本文 PDF の字句を検索することができます。

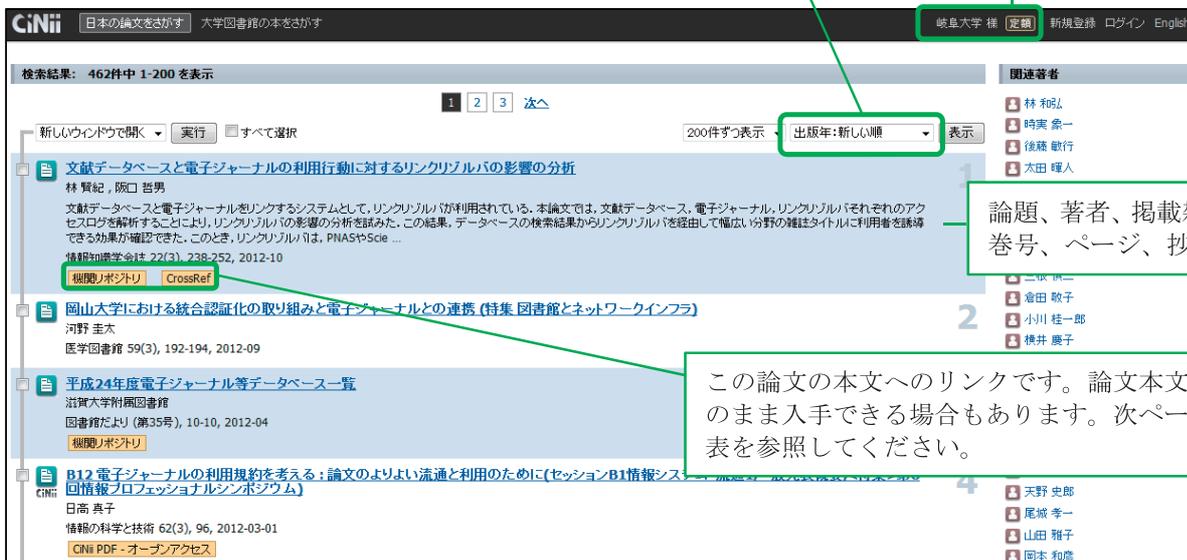
フリーワードで検索します。論文名・著者名・抄録等を検索しますが、参考文献欄は検索対象外です。

Cinii Articles に論文の本文が登録されている学協会刊行物・研究紀要を刊行物名や刊行者名等から探せます。

（検索結果画面）

検索結果を「出版年」「論文名」「刊行物名」「被引用件数」で並び替えます。

岐阜大学内からアクセスすると「定額」と表示されます。



論題、著者、掲載雑誌、巻号、ページ、抄録等

この論文の本文へのリンクです。論文本文をそのまま入手できる場合もあります。次ページの表を参照してください。

〈フルレコード表示画面〉

1 件の論文について、その掲載雑誌・巻号・ページ・抄録等の情報が詳細に表示されます。岐阜大学からアクセスすると、参考文献・被引用文献の情報を利用することができます。



〈この論文を読む／探す欄〉

この欄には直接 PDF ファイル等で本文を読むことができる WEB ページへのリンクが表示されます。主なアイコンは下表の通りです。外部機関の本文の利用は有料の場合もあります。

| | | |
|--|----------------------|---------------------------------------|
| | CiNii PDF - オープンアクセス | 本文にリンクしています。どこからでも無料で利用できます。 |
| | CiNii PDF - 定額アクセス可能 | 本文にリンクしています。岐阜大学内からアクセスすれば無料で利用できます。 |
| | CiNii PDF - 未公開 | 刊行後、一定期間経過しなければ利用できない文献です。 |
| | CiNii PDF - 有料 | 本文にリンクしていますが、有料の文献です。 |
| | CiNii Link1 | 外部機関の WEB ページの本文へのリンクです。 |
| | CiNii Link2 | |
| | 機関リポジトリ | 外部の機関リポジトリ (無料) へのリンクです。 |
| | J-STAGE | J-STAGE へのリンクです。多くの文献が無料公開されています。 |
| | 医中誌 | 岐阜大学で契約している医中誌へのリンクです。 |
| | CrossRef | 出版者のサイトへのリンクです。 |
| | 日本農学文献記事索引 | 日本農学文献記事索引の本文へのリンクです。 |
| | 本文へのリンクではありません。 | Cinii-Books (全国の大学図書館等の蔵書検索) へのリンクです。 |
| | 本文へのリンクではありません。 | 国会図書館 NDL-OPAC の雑誌記事索引へのリンクです。 |

Point

見つけた論文が PDF 等で閲覧できず、図書館でも雑誌を所蔵していない場合、他大学から複写物を取り寄せることができます (有料)。図書館ホームページ My Library の「文献複写・図書貸借依頼」から申し込むか、もしくはカウンターにご相談ください。

Cinii Articles は一般に公開されており、どこからでも利用できます。ただし機関定額制のサービスを利用する時は、学内の LAN に接続したパソコンからご利用ください。

寄贈図書一覧（平成24年 1月～12月）

平成24年 1月～12月に図書館にご寄贈いただいた図書の中で、本学教職員が著作・編集・刊行等に関係した図書を掲載します。ご寄贈いただき、ありがとうございました。引き続きご寄贈をお願いいたします。

平成23年度

- 小林 浩二（元 教育学部）
 - ・地域研究とは何か：フィールドワークからの発想—古今書院 【図本館 3階290.1 || Kob】
- 小見山 章（理事 応用生物科学部）
 - ・岐阜から生物多様性を考える—岐阜新聞社 【図本館 3階, 医図 3階 468 || Gih】
- 吉山 浩平（流域圏科学研究センター）
 - ・温暖化の湖沼学—京都大学学術出版会 【図本館 3階 452.93 || Ond】
- 山本 哲也（医学部）
 - ・現代の眼科学改訂第11版—金原出版 【医図 3階496 || Gen】

平成24年度

- 高見澤 一裕（応用生物科学部）
 - ・微生物の科学と応用—三共出版 【図本館シラバスコーナー（3階） 465 || Bis】
- 柳沼 良太（教育学部）
 - ・ポストモダンの自由管理教育：スキゾ・キッズからマルチ・キッズへ—春風社 【図本館 3階 371.5 || Yag】
- 齊尾 征直（元 医学部）
 - ・“わからん”が“わかる”へ病理解剖—金芳堂 【医図 3階 491.6 || Wak】
- 鈴木 康之（医学部）
 - ・日本の医学教育の挑戦—篠原出版新社 【医図 3階 490.7 || Nih】
- 富樫 幸一（地域科学部）
 - ・現代日本の資源問題—古今書院 【図本館 3階 334.7 || Gen】
- 野方 文雄（名誉教授）
 - ・最新応力・ひずみ測定・評価技術—総合技術センター 【図本館 3階531.11 || Sai】
 - ・フォトメカニクス：光学的手法による応力・ひずみならびに変形の解析—山海堂 【図本館 3階 535.8 || Fot】
- 山本 眞由美（保健管理センター）
 - ・大学生の健康ナビ：キャンパスライフの健康管理—岐阜大学 【医図 3階 498.3 || Dai】
 - ・大学生の健康ナビ：キャンパスライフの健康管理—岐阜新聞社 【図本館 3階, 医図 3階 498.3 || Dai】
- 馬路 泰蔵（名誉教授）
 - ・ミルクを食べる肉を食べる：ブルガリア食文化ノート—風媒社 【図本館 3階 383.839 || Maz】

2013年新規雑誌購入リスト

| 雑誌名 | 配架場所 |
|---------------------------------|---------|
| AIDS | 電子ジャーナル |
| Canadian journal of anaesthesia | 電子ジャーナル |
| Days Japan | 図本館総記 |
| Mac fan | 総情メデセンタ |
| 科学 | 教理科教育物理 |
| 都市計画 | 地域政策講座 |
| 発明 | 産官学融合本部 |
| パリテイ = Parity | 教理科教育物理 |
| 理科教室 | 教理科教育生物 |

図書資料のリクエストを募集しています

図書館では、学生のみなさんが図書館に置いてほしいと思う図書・視聴覚資料等のリクエストを受け付けています。読んでみたいと思った図書、先生が授業で紹介した図書資料、勉強・研究に必要な図書資料など、できる限りご要望にお応えしますのでリクエストをお寄せください。

申込方法

直接、図書館に申し込む場合は、図書館に置いてあるリクエスト用紙に必要事項を記入してカウンターに提出してください。

メールで申し込む場合は、メールに学部学科、学年、氏名、購入希望図書の情報（書名、著者、出版社、出版年、ISBN、金額、ご希望の図書を知った経緯）を記入して、本学学生用メールアドレス（***@edu.gifu-u.ac.jp）から tosyo-kibou@gifu-u.ac.jp へて送信してください。

AIMS-Gifu の「コミュニティ」→「TAB_図書館」にも申込みの案内がありますのでご覧ください。

国立大学図書館協会シンポジウム出張報告

12月3日に千葉大学アカデミック・リンク・センターで平成24年度国立大学図書館協会シンポジウム「ラーニング・コモンズ再考」が開催されました。学生の自主的・主体的な学習（アクティブ・ラーニング）の空間として本学図書館にも設置されているラーニング・コモンズをこれからどのように発展させてゆけばよいかについて、3つの講演とパネルディスカッションが行われました。

講演1は、同志社大学教授山田礼子氏による「学習成果につながるアクティブ・ラーニングとそれを支える学習環境」で、学生に対する調査の結果から、学生の学習時間の減少が指摘される一方、アクティブ・ラーニングによって学生はより学習が身についたと実感することが示され、アクティブ・ラーニングを行う空間としてのラーニング・コモンズが求められるようになった経緯が解説されました。

講演2は、日本大学准教授小山憲司氏による「ラーニング・コモンズを再考する」で、今回のシンポジウムの課題そのものに関する内容でした。小山氏は日本大学文理学部の図書館の新設されたラーニング・コモンズの実例として、開設当初大幅に利用が増加したものの図書館の前に新しい建物ができ、そこに更に居心地の良いコモンズが開設されたために利用者が移って行ってしまったという例を提示され、いかに学生にとって居心地の良い、学生生活の一部となるようなラーニング・コモンズを形成する

かが重要であると主張されました。

講演3は、青山学院大学准教授野末俊比古氏による「教育・学習支援とラーニング・コモンズ：英国大学図書館の動向を中心に」で、青山氏が最近留学したイギリスの4館の大学図書館に関する報告でした。イギリスの大学は1校を除いてすべて公立の大学なので、大学図書館としての目標は決まっていますが、そのための方法はそれぞれの大学に任されており、ラーニング・コモンズに相当する設備にもいろいろな形があるそうです。たくさんの写真が紹介されましたが、その中でも、ずいぶん無駄の多い感じのする家具の配置は興味深いものでした。日本の施設では考えられない配置ですが、学生は自分にとって使い心地の良い場所を上手に見つけて使っているそうです。

パネルディスカッションでは、よりよいラーニング・コモンズを作ろうという意気込みの感じられる会場からの質問もあって、熱い議論が交わされました。

パネルディスカッションの中でも話題になりましたが、理想的なラーニング・コモンズの形は大学ごとに違うはずですので、今後も岐阜大学によく合ったラーニング・コモンズを模索していきたいと思いました。

（資料サービス係：佐藤 翔）

/// お知らせ ///

図書館講習会を開催しました

1月16日に本館2階プレゼンルームで図書館講習会「資料の探し方・日本語論文の探し方」「英語論文の探し方」を開催しました。

「資料の探し方・日本語論文の探し方」では図書館の資料の基本的な探し方や便利な使い方、日本語論文の入手方法について、「英語論文の探し方」では英語で書かれた論文を探すためのツールや使い方、論文の入手方法について講習を行いました。

図書館では今後も図書館講習会を開催します。開催の予定は図書館ホームページや館内電子掲示板などで案内しますので、みなさんのご参加をお待ちしています。



母国語資料コーナーを設置しました

本館3階東に母国語資料コーナーを設置しました。ここには留学生のみなさんにとっての母国語資料が集めてあり、各国で出版された資料、日本の小説を各国語に翻訳した資料等が配架してあります。

このコーナーの資料に関する希望がありましたら、カウンターまでご相談ください。



論文執筆のための長期貸出について

卒業論文・修士論文・博士論文の執筆のために必要な場合、**最大20冊まで60日間**、図書を借りることができます。

手続きは、図書館カウンターで申込書を受け取って、指導教員の先生のサインを頂いてから、**平日9時から17時の間**に、図書館カウンターに申込書と借りたい資料を提出してください。

貸出の延長はできません。また、予約が入った場合、一時的に返却をお願いすることがありますので、予めご了承ください。

平成25年度に増改築の予定があります

図書館では平成25年度に増改築の予定があります。この工事に伴って利用スペースが限られたり、臨時休館することがありますので、随時図書館ホームページや掲示等をご確認ください。